

令和4年度 第2回 草加市地域公共交通会議 会議録

1 開催日時

令和4年8月18日(木) 午後2時から

2 開催場所

高砂コミュニティセンター 集会室

3 出席者の氏名

- (1) 委員 草加市 小谷 明 委員(会長)
東京理科大学元教授 内山 久雄 委員(副会長)
東武バスセントラル(株) 深津 光市 委員
朝日自動車(株) 田沼 健一 委員
国際興業(株) 久武 雅人 委員
(一社)埼玉県バス協会 関根 肇 委員
草加市タクシー協会 吉田 隆彦 委員
草加市すこやかクラブ連合会 小暮 徹 委員
草加市町会連合会 浅井 喜久男 委員
(旧)草加市婦人連合会 大谷 久美子 委員
(福)草加市社会福祉協議会 馬場 博 委員
(福)草加市社会福祉事業団 下国 季樹 委員
国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局 細野 桂一 委員
草加警察署 高津 善太 委員
埼玉県企画財政部交通政策課 伊藤 太佳博 委員
- (2) 欠席者 草加商工会議所 山崎 修 委員
(一社)埼玉県乗用自動車協会 三上 秀樹 委員
東武鉄道(株) 小瀧 正和 委員
東武バス労働組合 浅原 努 委員
- (3) 事務局 草加市 福島市民生活部長
草加市 菅沼市民生活部副部長
草加市 田口交通対策課長
草加市 柴田交通対策課課長補佐
草加市 南雲交通対策課交通政策係長
草加市 上田交通対策課交通政策係主事
草加市 家崎交通対策課交通政策係主事
(株)東京建設コンサルタント 佐藤氏 小安氏
- (4) 傍聴者 なし

4 会議の議題

議事 新田駅東口交通広場暫定供用に伴うパリポリくんバス新田ルートの
乗り入れについて

報告（１）パリポリくんバス新田ルートの改善計画案について

報告（２）パリポリくんバス３ルートの運行実績について

5 配布資料

- ・次第
- ・資料－１「新田駅東口交通広場暫定供用に伴うパリポリくんバス新田ルートの
乗り入れについて」
- ・資料－２「パリポリくんバス新田ルート改善計画案について」
- ・資料－３「パリポリくんバス３ルートの運行実績について」
- ・参考資料「草加市地域公共交通会議委員名簿」
- ・参考資料「席次表」

6 委員会運営に当たっての諸事項

- ・本委員会の録音および会議録の署名、公開について委員の了承を得た。

7 会議録の署名について

- ・会議録の署名委員については、名簿順に持ち回りで会長、副会長と、代理の方を除いて上と下から１名ずつ指名させていただくことになっているため、草加市町会連合会の浅井委員と草加市社会福祉協議会の馬場委員が署名委員の指名を受けた。

議事 新田駅東口交通広場暫定供用に伴うパリポリくんバス新田ルートの乗り入れについて

- ・新田駅東口交通広場の土地区画整備事業の進捗に伴い、パリポリくんバス新田ルートが乗り入れ可能となった。バス停の位置が変更となるため、便数と時刻表の調整が発生することを説明した。

会長（小谷会長）

- ・事務局の方から説明がありましたとおり、暫定という形で供用させていただくということになります。狭い道路となる部分もありますが、駅前に行くことが可能になります。何かご意見はございますでしょうか。

草加市タクシー協会（吉田委員）

- ・新田駅の東口の広場にはタクシープールはできるのでしょうか。

事務局

- ・回転広場の中央にある空間にタクシープールを予定しております。

草加市タクシー協会（吉田委員）

- ・バスプールと書いてあるところでしょうか。

事務局

- ・バスプールと書いてある縦の細長いエリアが、暫定の段階ではバスとタクシーが相乗りのような形に開放すると伺っています。

草加市タクシー協会（吉田委員）

- ・現在新田駅東口は、朝日バスさんだけが入れようになっているかと思いますが、今後は市のスペースになるという事でしょうか。

事務局

- ・はい、市の道路になりますので、特定の事業者様には限りません。

草加市タクシー協会（吉田委員）

- ・それでは、他のタクシー会社もこのプールに入ることもできるという事でしょうか。

事務局

- ・そうなります。

草加市タクシー協会（吉田委員）

- ・了解しました。

会長（小谷会長）

- ・こちらは暫定の共用開始となりますが、将来的にはもっと大きくなります。他にご意見等ございますでしょうか。
- ・現在、駅の西側でも区画整理を行っていきまして、将来的には西側にも乗り入れができます。そちらの方が時期としては遅くなりますので、供用開始するまでは、東口に乗り入れるということになります。朝日さんは本来なら西口での利用かと思いますが、ご不便をおかけしております。西口の事業も完成すれば、分かれて使用できるということになりますので、よろしくお願ひします。

一同《承認》

報告（１）パリポリくんバス新田ルート改善計画案について

- ・新田ルートは、市立病院が元々新田駅東口から現在の場所に移転したことで、これまで病院を利用していた方の足の確保要望があったという運行経緯について説明を行った。（小谷会長）
- ・新田ルートは今年で３年目の試験運行となるが、収支率が低い状況であることから、草加市地域公共交通再編計画に基づき、改善計画を検討する必要があることを説明した。
- ・改善運行計画として、案１「現行バス停を利用し新栄団地から市立病院までの所要時間を最短化した改善案」と案２「新栄団地と市立病院までの所要時間を短縮した改善案」の２つの案が考えられることを説明した。

会長（小谷会長）

- ・２つの案を事務局から提示していただきました。何かご意見がございましたらお願い致します。

草加市すこやかクラブ連合会（小暮委員）

- ・私は今青柳地区に住んでいるので、新栄団地の方の詳細は分からないのですが、私個人の意見では案２の方が良いのかと思います。というのは、青柳や柿木方面はパリポリくんができたので東武線の上りへ行く人は、パリポリくんが獨協大学前駅へ行き、新田駅に行く人で今までどおりでよいという人は路線バスでそのまま行きます。獨協に行く方は、病院がメインではなく通勤通学で使う人が多いので、新栄団地でそのまま当てはまるかは別ですが、時間が短い案２の方が良いのではないかと思います。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。参考にさせていただきます。
- ・ルートを改善するという事は利用者の増加を目指すという事ではあるのですが、このルートにしたからと言って利用者が増加するかについては分かりません。ただ、何かしら改善を試してみたいというところです。先ほど事務局から説明がありましたように新田駅東口の開発も進んでおり、これまでとは状況が変わってきているという事もあります。

草加市社会福祉協議会（馬場委員）

- ・私としては、案２にした場合、新田駅周辺のバスが廃止となるので、地元の説明して理解をいただけるのかという点が気になります。また、さざんか通りを南下するルートは非常にいいと思うのですが、距離的に新たにバス停を２つ３つ作らないといけないということもあります。場所の選定も地元の方と話し合うのに時間がかかる印象はあります。ただ、新田駅は新栄団地から既存のルートで補えるので新栄団地からなるべく早く病院に行くという意味ではこれでいいのかとも思います。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。先程もお話ししましたが、元々新田駅東口に市立病院があったので、この方たちのことを考えると、ルートが無くなると今度は電車で獨協大学前駅まで行って、バスを乗っていただくという形になってしまいます。ただ、実態として今のルートにこの方たちはあまり乗っていないという状況もあります。そのあたりは丁寧に説明をしていく必要があると思います。参考にさせていただきます。

副会長（内山副会長）

- ・新栄団地からのルートですが、そもそも存続が危ぶまれるほどお客さんが乗らないという事であり、その理由を考えてみたら、新栄団地から新田駅に行く人は路線バスに乗るという結果だったかと思います。お客さんの半分以上は新田駅に行く人と見込んでいたがダメであった。そして路線バスと競合するルートだった、という事になります。
- ・それらを加味して考えていただいたのが、今回の案かと思いますが、どうしたらお客さんが増えるかについては、所要時間を大幅に短縮する、路線バスとの役割分担をする、という事になります。つまり、路線バスは、新栄団地と新田駅のシャトルサービスを強化し、コミュニティバスとは差別化を図るという事になる。当然今まで利用してきたお客さんが不便を感じてしまうという事もありますが、シャトル機能を強化するという事が路線バスに望まれるべきことかと思います。
- ・よってコミュニティバスは、新田駅を通らないようにする、つまり案2ですね。駅に行くから路線バスと競合が起こる。だから棲み分けを行う。今回の案はそういう意図かと思います。
- ・バスの計画を始めたときに、この案だと新田駅に行く人がかわいそうだから駅までつなげてみようとか、獨協大学前駅につなげてみようとか、二頭、三頭追うので一兎も得られない。今の状況は社会実験的な話なので、路線バスとの役割分担をはっきりさせて、運行時間も短縮する、といった形で、しばらくやってみるというので良いのではないのでしょうか。
- ・私は案2しかあり得ないと思っております。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。新田ルートは今年が3年目ということになりますので、来年に向けて検討を進めていきたいと思っております。参考にさせていただきます。
- ・今頂いたご意見を踏まえまして次回、改善案の方をお示しさせていただきます。

報告（２） パリポリくんバス３ルートの実績について

- ・パリポリくんバスの利用状況について、新型コロナウイルスの影響から利用が落ち込み続けている状況であることを説明した。
- ・今後も事業者と協力し、改善の取り組みを行っていくことを説明した。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。コロナで R2、R3 は利用が落ち込んでしまったのですが、行動制限が解除され徐々に回復しつつある状況であったのが数字を見てわかるかと思います。
- ・前回もご説明させていただいたのですが、北東ルートよりも南西ルートの方が乗っている方は多いです。ただし、路線の延長が長いと収支率という観点で見ると南西の方が悪くなってしまうという事になります。H31 の状況が一番利用が多かったのですが、これからその水準まで戻ることを期待して、啓発活動なども行っていければと思います。
- ・新田ルートについては、先ほども説明しました通り利用が少ない状況です。行動制限が解除されて回復も見られますが、改善の検討を進めていく次第です。
- ・1 点内山先生にお聞きしたいのですが、コミュニティバスの運行に伴い、当然、高齢者の足の確保や交通弱者の方の足の確保という意図があるわけですが、外出機会のきっかけ作りなど含め、取り組みで何か良い事例があればお願いします。

副会長（内山副会長）

- ・コミュニティバスの 1 つの役割としては、確かに交通不便地域に公共交通がないからというので運行するというのがそもそもの始まりですが、高齢化社会となると、何も公共交通がないから家から出ないということが起こっているようです。例えば、家族がいて息子がいて、年老いたお父さんがいて、病院に行かないといけないという場合。病院に行くのも自分ひとりじゃいけないから息子にすがって病院に連れて行って欲しいと言っても、息子は忙しくて断ってしまう。そうすると、病院に行かないといけないお父さんは行くのをあきらめるということが起こります。お金があればタクシー呼んで行くかもしれないのですが、そういう人ばかりではないから、結局どうするかというと、足がないイコール家から出ない、つまり、引きこもりとなってしまう。ある種の老人健康問題とも言えます。だから福祉的な目的としては、家から出られない老人を、バスがあるから家から出られるんですよという仕掛けを作っておくことが極めて重要じゃないかと思います。この場合は、採算は度外視となります。
- ・で、先ほど会長から先進事例がありませんかとお話がありましたが、外出できない老人のために積極的に福祉バスを運行している事例はあまり知らないです。ただ、東京都バスは昔から老人パスというものをやっています。老人パスさえ持っていれば都バスに乗れるということで、一日中乗っている人もいます。家に帰ってもすることないから一日中東京都バスに乗っている。今日はこっちのルートを楽しんで、一日かけて時間をつぶす。そういう人たちもいたと聞きます。高齢化社会というのはそういう老人がいたるところに出てくるんですね。
- ・以前も言ったかもしれませんが、ニューヨークの昼間のバッテリー公園は老人が一日中ひ

なたぼっこをしている。すごい国だなアメリカはと思っただけです。ずいぶん昔の話ですが。今の日本だって公園に老人がたむろしてあまり動かない。外に出てくればそれだけで健康だということです。外に出る機会が失われる、家の中にいる、引きこもっているということは、外に出ないからみんな気が付かないんだけど、不健康な状態。これだけ高齢者がいるのにそういう人たちはちっとも外へ出ない。

- ・コミュニティバスは高齢者だけという事ではないのですが、一部でそういった側面も必要かなと思います。今の料金体系は1回ごとに金を払うので、老人はそんなことができない。高齢者にパスを出してあげて、何回乗ってもタダですよというようなことをすることも考えられるような気がします。

- ・違う話ですが、3ルートの運行実績について採算性ラインはルートによって異なりますね。これは路線の延長が異なるから違うんです。ローカル鉄道では最近1000人/km輸送密度という概念で運営しています。採算の取れる輸送密度というのは1kmあたり千人が限界とされています。最近はこの考えが出てきているので、バスも輸送密度で標示してもらった方がわかりやすくなるかもしれません。そういう出し方もしてもらえるとありがたいなと思います。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

草加市すこやかクラブ連合会（小暮委員）

- ・私は北東ルートなんですが、本来ならば大型バスが通れないところを、パリポリくんが通ってくれてすごく地元は助かっているという声を聞きます。通勤通学で獨協大学前駅行くのと、市立病院へも行きやすくなったので助かっているのですが、総合運動場あたりのルートは変更できないでしょうか。当然、簡単にはできないとは思っておりますが、周辺の町会からだいぶ注文が出ています。今のルートは総合運動場から柿木の方へ行っちゃうんですね。あの先はほとんど乗り降りがいない。ところが草加公園のまわりは田んぼだったところに住宅が建ちまして結構施設もある、介護施設とか。ぜひあのあたり、難しいとは思いますがルートを検討してほしいとだいぶ出ていますので改めてもう一度お願いします。

事務局

- ・ありがとうございます。北東ルートについてですが、我々の方で再編など必要と感じていますので今後検討を進めさせていただきます

会長（小谷会長）

- ・他にいかがでしょうか。今、各事業者さんが集まられておりますので、コロナの関係で交通事業者さんも大変だと思うんですけども状況などお願いします。

東武バスセントラル（深津委員）

- ・今コロナの状況ということですが、テレビの報道でかなり触れられていますが、あちらこちらのバス会社さんも運休という形を取らせていただいております。原因といたしまして、当然乗務員、事務所もなんですが本人がコロナ陽性となれば、10日間出勤停止となります。またご家族のお子様や親御さんがコロナ陽性と出ますと同居している乗務員も濃厚接触者となり出勤停止となっております。それが悪循環となっているのが現状です。ですので、運休ダイヤで走らせてご迷惑をかけております。皆さんに置かましては、ご周知といたしますか、お願いしてやっていければと思います。
- ・また収入面ですけれども、コロナ始まって3年近く経ちますが全然伸びてきません。一時期伸びてきたんですけど、今日も3万人4万人と感染者が出ています。バス事業とは、人々皆様が移動していただいて収入を得られる商売ですので移動が減るとこうなります。ずいぶんテレワークが定着しましたが、バス事業としましてはテレワークが定着しますと人の移動がなくなるので、収入が得られない状況が続いております。あとはまた世界情勢で燃料が高止まりというか上がっていますので、燃料が単純に10円でも上がると大きな出費になりますのでそこら辺を何とかしようとか日々なんとかやっている状況です。

会長（小谷会長）

- ・朝日さんはどうでしょうか。

朝日自動車（田沼委員）

- ・当社におきましても、運転手また事務職員がコロナに感染もしくは濃厚接触ということで出勤できないものはおりますが、幸いにして一営業所で多くの人数がかかってしまったり濃厚接触になることがないものですから今のところ減便は行ってはおりません。ただお盆明けて各営業所からの報告をまとめまして、一人二人三人と出てきておりますので、今後も集中をしないでくれれば、まずこのまま維持できるかなとは思っておりますが、なんとか運行は維持してまいりたいと考えております。
- ・また利用状況ですが、先程のパリポリくんバスも平成31年、令和元年度に何とか目指していくよう話はありましたが。路線バスにおいては、先程東武バスさんがおっしゃったように、テレワーク等の生活様式が変わってございましてその水準には戻らないということで当社は考えております。パリポリくんバスにおきましても、なかなかその水準に戻るとするのは厳しいのかなと思います。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。国際興業さんはどうですか。

国際興業（久武委員）

- ・当社も今のところぎりぎりになんとか回しているところですが。もともと土曜日ダイヤで運行してましたので、乗務員の数を少なくして出勤してました。ちょうど明けるところなのでこれからどうなるか、予断を許さないところでもあります。実際に朝や夕方の方の点呼の

時に熱を測ってしまして、その時に熱があって急遽休むとかそういうことがありますので結構ぎりぎり、明日どうなるか分からない状態です。

- ・収入の方なのですが、当社も同様でございまして、6月が一番戻りました。3年前と比較しまして85%戻ってます。ただまた感染者が増えて80%くらいで逆戻り。今後も改善しても90%、元通りになることは一切考えていません。定期券も明らかに減っている。出勤者自体減っていることを前提に、多少戻るとしたら飲食店や商業関係の方々、アルバイトやパートの方の雇用がもう少ししたら増えるのかなと思っています。それでもマックス90%くらいで考えています。そのなかでなんとか、自治体さんとかご協力いただきながら、できるだけ減便はしないように、そうはいつても需要は減るので通勤スタイル時間帯などそういうところは見直していく必要があるのかと思います。

会長（小谷会長）

- ・草加タクシーさんはいかがでしょう。

草加市タクシー協会（吉田委員）

- ・タクシーははっきり言って人手が不足し深刻な状況です。やはりコロナの状況であって、お客さんが減っているのが事実です。夜に関しては戻ってきていたのですが、最近は何も利用する方が減りました。代わりに、天候状況でなにかしら高温だったり雨がひどく降っているときは、昼間乗ってくれるお客様がかなり多くなってきています。プラスマイナスじゃないですけども、夜厳しい割には昼間結構お客さんが増えている。それでも、タクシーの車両が空いています。やはり人材、タクシードライバーが少なくなってきているので、個人も会社も車両の動きがかなり鈍って、台数がかなり少なくなってきている。私も谷塚に住んでいますが、谷塚の東口のタクシープールに行きますとタクシーが全然いないということが最近よく見かけます。夜ちらっと先週のお盆の終わりくらいに小さなお子さん連れのご夫婦が、タクシーが来るか来ないわからない状況で待っている姿を見て、心が痛みました。日曜日だとドライバーの休みが多くて台数も少なくなってきてしまいます。そういったいつ来るかもわからないところで、暑い中でお子さんがぐったりして抱きかかえてる姿を見て、なんとかタクシーのドライバーも増やしていかないといけないかなと痛感しました。なにをしても今一番タクシー業界の痛いところは人材不足ですね。
- ・あとは最近CMでアプリを使うタクシーがあると思います。地方だと駅で待たなくてもアプリで呼ばれるので駅待ちをしないというのがかなり多くなってきていると思います。私の会社ではお金もかかりますし手数料もかかるので、そのアプリには参加していません。やろうかとは考えたのですが、やはりそういったタクシーの駅待ちが少なくなったところで、ドライバーからは駅待ちをして駅で拾われる回数が増えたという話もあるので、アプリに参加しないで皆さんの公共交通としてがんばっていきたいと思っています。

会長（小谷会長）

- ・ありがとうございます。公共交通事業者の立場からコロナの中大変な思いをされていると思っ
ていまして、実際にお聞きしてご苦労されているとわかりました。そういった中
でも市民の方の足を守っていただいていることに感謝申し上げます。また要望とか草加
市の方で行政の方で何かできることがございましたら取り組んでまいりますので、遠慮
なく申し伝えていただければと思いますのでよろしくお願いします。報告は以上となり
ます。

その他

- ・公共交通の取組状況と情報提供として以下の内容を報告した。
 - ①市内の東武鉄道の4駅については、令和2年度よりホームドア設置工事を実施中、今年度に獨協大学前駅に設置予定
 - ②東武鉄道では高架橋の耐震補強工事を実施中
 - ③路線バス、タクシーについて、新型コロナウイルスの影響、世界的な原油価格の高騰を踏まえ、草加市公共交通事業者緊急支援金として燃料高騰分に係る一部分について支援金を交付する。路線バス事業者は車両1台あたりにつき10万円、タクシー事業者は車両1台あたりに3万2千円となる。

会長（小谷会長）

- ・ご質問等ございますでしょうか。よろしいでしょうか。以上をもちまして閉会と致します。

【当口の会議の様子】



署名欄

馬場博



浅井喜久男

